

# バイオインフォマティクス トレーニングコース

## 平成22年度開講予定

### ～ 実践的なバイオインフォマティクス・創薬インフォマティクスを学ぶ ～

日本でも有数のバイオインフォマティクス専門の研究機関である産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター（CBRC）は、平成17年度から5か年にわたって生命情報科学技術者養成コースを開講し、バイオインフォマティクス、創薬インフォマティクスの分野で合計350名を超える修了者を輩出しました。

これらのコンテンツやノウハウを活かし、平成22年度からは受講者にとってより選択性の高い、バイオインフォマティクスをe-learningで学ぶコース、実習を交えて学ぶコース、そして創薬インフォマティクスコースの3コースの開講を予定しています。

- 対象** 主に現在企業などに勤務されている技術者・研究者の方  
**会場** 産総研 臨海副都心センター 別館（バイオ・IT融合研究棟）8階コラボレーションコーナー  
**交通** 新交通ゆりかもめ テレコムセンター駅下車 徒歩3分  
 東京高速臨海鉄道りんかい線 東京テレポート駅下車 徒歩15分  
**受講料** コース運営に係る諸費用の一部ご負担をお願いする予定です。  
 金額については追ってホームページにてご案内致します。

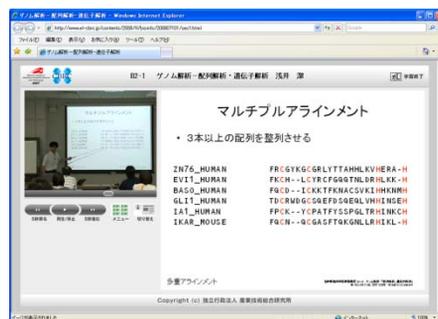
### バイオインフォマティクス e-learning コース

自由な時間に必要な講義を選び、納得できるまで繰り返し聴講  
 認定試験\*の試験出題範囲等を参考に設計された履修範囲

**内容** 1コマ90分 全20コマ + 修了試験

- バイオ基礎、情報技術基礎、バイオインフォマティクス基礎
- 教理・知識表現 数理的手法・知識の表現と抽出
- ゲノム解析 遺伝子配列・発現データ等
- タンパク質構造 計算化学・プロテオーム解析等
- 生命システム解析 システム生物学等

\* 認定試験：日本バイオインフォマティクス学会主催 バイオインフォマティクス技術者認定試験



### バイオインフォマティクス 実習コース

1人1台のPCによる計算機実習 実用的な無料ツールを多数紹介  
 基礎から実際の解析研究まで必要な科目のみ選択受講可能

**実習ツール** ※平成21年度実績から一部抜粋

- BLAST、PSI-BLAST（配列解析ツール）
- KEGG（生体ネットワークデータベース）
- Perl（プログラミング言語）
- R（数値統計解析用ソフトウェア）
- PyMOL（分子可視化ツール）
- POODLE（タンパク質ディスオーダー領域予測ツール）



### 創薬インフォマティクスコース

基礎から最新の事例紹介まで包含したコンパクトなカリキュラム  
 概論・実習・特論の三本柱 地方開催も計画中

**内容** ※平成21年度実績

- ケモインフォマティクス関連  
 二次元分子表記 三次元分子表記および構築 配座解析  
 化合物記述子 データ解析 化合物類似検索
- バイオインフォマティクス関連  
 タンパク質モデリング 標的タンパク質同定  
 リガンドドッキング バーチャルスクリーニング

**お問い合わせ**

産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター  
 生命情報科学技術者養成コース事務局  
 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-7  
 産総研 臨海副都心センター 別館（バイオ・IT融合研究棟）

TEL: 03-3599-8080 E-mail: training@cbrc.jp

本紙記載の予定は変更されることがありますのでご了承ください。最新情報はホームページをご覧ください。

